

おひさまだより

2021年2月号

社会福祉法人 尚徳福社会

生麦保育園 園長 田淵弘子



一年のうちでいちばん寒さの厳しい2月。それでも子どもたちは、頬を赤くしながら元気に遊んでいます。楽しそうにおしゃべりをして遊んでいる声は、冬の空気を暖め心に温もりを運んでくれます。とても小さなケガでも私に見せにくる子どもたち。『痛かった?』『大丈夫?』と声をかけ、『バンドエイド、貼る?』と聞くと『うん!』と大きくなずいています。バンドエイドは安心バンドのようです。私にとっては子どもたちとの、大切な触れ合いの時間になっています。


「緊急事態宣言」が発出されてから、いまだに終息の兆しが見えません。感染リスクが更に高まる中、保育園でも子どもの手指消毒、三密、換気など引き続き行っています。保護者の方々におかれましても、新型コロナウイルス感染拡大予防対策に引き続き、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



2月の行事


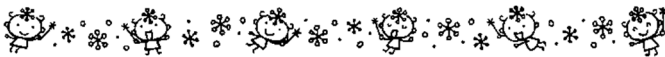


2日(火) 豆まき(幼児クラス)	
4日(木) 英語であそぼう	
5日(金) 不審者訓練	
9日(火) バイキング(幼児クラス)	
16日(火) お楽しみ会(リハーサル)	
17日(水) おはなし会	
18日(木) バイキング(幼児クラス)	
19日(金) お楽しみ会	
22日(月) 幼児誕生会	
24日(水) 乳児誕生会	
25日(木) 避難訓練・英語であそぼう	
27日(土) 新入园児説明会	



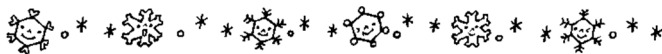
ひよこぐみ

表情がしっかりしてきて、笑ったり！泣いたり（泣いた顔もかわいいです）。食べたくない食材の時はちょっと怒ったような。。いろいろなものに興味を示した時はつぶらな瞳がキラキラしています。



あひるぐみ

散歩に行くときは元気に「いってきまーす」と手を振って出発。公園に行ったり電車を見に行ったり楽しむことができます。帰ってくる時は満足顔で「ただいま〜」。私が「早くおいしい給食を食べようね」と声をかけると、ますます満面の笑みがこぼれます。



りすぐみ

保育士が話をするとき、ちゃんと目を見て話を聞いています。私がクラスに入ると、「あのね〜」「あのね〜」と次から次にお話を聞かせてくれるりすぐみ。友達にやってあげたい気持ちと、自分でやりたい気持ちがうまく伝わらず、トラブルになってしまうこともあります。成長を感じています。




看護師のおはなし



年が明けても、新型コロナウイルス感染者数は増加を続け、先月、神奈川県にも二度目の緊急事態宣言が出されました。期間は2月7日までとなっていますが、今後の状況によってはまた変更があるかもしれません。

今回は、保育所利用に関しては「原則開園」となっています。そのため緊急事態宣言前とほぼ変わらない状況になっていることもあり、感染予防により一層の注意を払っていきたいと思います。

基本的な感染予防対策の励行はもちろん、園とご家庭間での体調把握もしっかり行っていきたく思います。引き続き、登園前の体温測定等のご協力をお願いすることに加えて、送迎時も園内での滞在時間を短くしていただく等のご協力をお願いいたします。



うさぎぐみ

身のまわりのことはほとんど自分でできるようになり、着替えの時など「寒いから早く着替えてね」「お手伝いする？」の声掛けに、「だいじょうぶひとりでする！」と頼もしい声が返ってきます。友達を誘って遊びを楽しんだり、一人で好きな遊びに集中したり、園生活を楽しんでいる様子にほっこりしています。



きりんぐみ

友だちとの劇のセリフのやり取りをする集中力。空箱を使った作品作りの想像力など、この一年の健やかな成長が感じられます。一緒に遊びながら会話を楽しんだり、ルールのある遊びを考えたりと、他者との関わりがどれだけ楽しいのか気づいているようです。年下の子のお世話をしたり、心の中にある思いやりの芽も子どもたちと一緒にぐんぐん伸びています。



ぞうぐみ

園生活最後の一年がコロナ禍により、行事の変更、中止を余儀なくされた中で、子どもたちは私たち保育士の心配をよそに、友だちとの関わりを強め、年下への優しさなど、逆境をプラスに変える力強さを見せてくれました。今はお楽しみ会の練習にクラスの力を結集して楽しそうに取り組んでいます。